

# ふなっこタイムズ(学校評価特別号)

令和5年2月7日

学校評価アンケートへの御協力、ありがとうございました。本年度の学校評価の結果をお知らせいたします。「目指す学校像」に対する評価を、縦軸を重要度、横軸を達成度として整理しました。今年度も、概ね高い評価をいただきましたが、達成度が低かった項目を来年度の重点と考え、教育活動に邁進いたします。

## 1 児童と保護者の評価

	評価項目	児童重要度	児童実現度	保護者重要度	保護者実現度
【知】	○自分から、本気で楽しい授業(学習)を目指す	99%	86%	99%	73%
	○みんなで感動する(できた・すごい・分かった)楽しい活動(授業・行事)をつくる	98%	90%	99%	82%
【徳】	○「おはようございます・始めましょう・お願いします・こんにちは」等と言える	100%	86%	99%	80%
	○感謝と思いやりの心を持ち、「ありがとう」や「ごめんなさい」と言える	99%	92%	99%	78%
【体】	○自分から、夢につながる目標を持ち、振り返りながら努力できる	99%	83%	98%	54%
	○行事や勉強に、みんなと共に鍛え合いながら取り組むことができる	99%	89%	96%	78%

【自由記述より】 ※紙面の都合上、全ての御意見を載せられません。御了承ください。

○毎日「学校が楽しい」と言っており、先生方に見守っていただけているからだと感じています。

○自分たちで考え、資料をつくり、発表をする機会が増え、良い勉強になっていると思います。

・「日本一の挨拶」というのが抽象的過ぎて、子供には理解しづらいのではないかと思います。

・船越小ではインクルーシブ教育についてどのような取り組みを考えているのでしょうか。

・学校の方針として「自ら」と「みんなで」がキーワードだと思う。難しいと思うが、学校生活で学べる大切なことだと思う。

・挨拶についてですが、旗振りをしていると全くできない子も結構います。

・運動会、音楽会等の行事で、保護者へ向け観覧がしっかりと出来ることをしていただけると嬉しいです。

・給食の黙食は、子供たちへ適切な指導や声掛けをしていただき、是非見直していただきたいです。

## 2 学校運営協議会による学校関係者評価

○ 各学年の学習ボランティア等は、コロナ以前はPTAが中心となり学校と連携を図ってきた。今後も従来の組織を活用し、学習活動を充実させていくとよい。

○ キャリア教育については、船越小学校区の地域人材や保護者などに協力していただき、身近な大人の話聞き、より現実的に子供たちが将来を描けるような活動を取り入れていくとよい。

○ 発達支援学級の増設・新設を機会に、子供たちが特性に合わせた学びが保障されるような体制を築いてほしい。

○ 地域との連携を深めるため、校内の栽培活動などに地域のボランティアが入り、活動する場があるとよい。

## 3 今後の改善方策

○ 学習ボランティアは、各学年の担任とPTA学級支援部が相談し、年度当初に活用計画を立て、PTAが中心となって募集し、学習ボランティアの充実を図る。

○ 高学年のキャリア教育では、保護者や地域の人材を活用し、身近な大人の職業についての話を聞く機会を設定し、子供たちのキャリアプランニングに生かす。

○ 発達支援学級の増設・新設を機会に、発達支援教育コーディネーターを複数配置し、校内の発達支援教育の推進を図る。

○ 委員会活動を中心に、校内の栽培活動に地域ボランティアを活用し、地域との連携を深める。

